



## 2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月14日

上場会社名 JNSホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3627 URL <https://www.jns.inc/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 昌史  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理部長 (氏名) 中野 隆司 TEL (03)6838-8800  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第2四半期の連結業績 (2020年3月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	4,008	△17.6	168	△31.7	112	△56.2	156	△1.1
2020年2月期第2四半期	4,866	44.7	246	26.2	256	31.1	158	△27.5

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 121百万円 (△8.6%) 2020年2月期第2四半期 132百万円 (△47.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	13.52	13.01
2020年2月期第2四半期	14.00	13.94

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	7,190	5,042	69.8	428.23
2020年2月期	8,499	4,948	57.5	425.48

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 5,018百万円 2020年2月期 4,886百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	-	0.00	-	3.00	3.00
2021年2月期	-	0.00	-	-	-
2021年2月期 (予想)	-	-	-	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
		百万円	%	百万円
通期	9,000～10,500	△16.8～△2.9	300～800	△65.7～△8.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

現在、モバイル、インターネット業界は、非常に速いスピードで構造変化が進行しつつあり、短期的な業績動向については変動要素が多いため、当社では、年間ベースでの業績管理に重点をおいた経営管理を強化しています。これらを踏まえ、現在、当社グループの業績予想については、連結業績に関する年間業績の開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	11,718,800株	2020年2月期	11,483,500株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	64株	2020年2月期	22株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	11,601,093株	2020年2月期2Q	11,326,451株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 経営成績に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2020年9月1日に持株会社体制へ移行し、JNSホールディングス株式会社に商号変更しました。なお同日付で、当社の完全子会社である株式会社ネオス分割準備会社が当社の事業のうち、グループの経営管理に関する事業及びFinTech事業（但し、キャッシュレス決済サービス関連事業に限ります。）を除く一切の事業を吸収分割の方法で承継し、ネオス株式会社に商号変更しました。詳細につきましては、2020年4月21日付の「会社分割による持株会社体制への移行に伴う吸収分割契約締結及び簡易株式交換による連結子会社（株式会社ジェネシスホールディングス）の完全子会社化並びに定款変更（商号及び事業目的の一部変更）に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)における日本経済は、依然、収束がみえないコロナ禍の影響により、4月～6月期のGDPが前期比7.9%減、年率換算28.1%減と大きく落ち込んでおり、政府や自治体による各種支援対策が実行されつつあるものの、かつてない厳しい状況にあります。

特に、交通や旅行、飲食やイベントなどの産業は直接的な影響を受けており、空運業や宿泊業、インバウンド等に関連する企業においては業績の悪化が著しくなっています。一方で、コロナ禍の影響により、在宅時間の増加によるテレワークの拡大やネット会議の増加、在宅学習の浸透など、デジタル化、ネットワーク化の進行はさまざまな領域で本格化しており、新内閣における目玉政策の一つとして掲げられたデジタル庁創設といった政府の動きも加わり、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進の動きは、公共、民間ともにさらに加速していくものとみられます。

こういった状況のなか、当社グループのDXソリューション事業については、デバイス事業の設計・製造を担う深圳工場が、コロナ禍から年度開始一カ月余にわたり、ほぼ稼働出来ない状態からスタートしました。第2四半期には中国拠点は正常の状態に復旧しましたが、出荷先の日本においてコロナ禍が加速しインバウンド関連製品等の落ち込みが顕著になってきたことから、新たなIoTデバイスや法人向けICT製品の受注拡大に積極的に取り組んでいます。X-Techサービス事業については、チャットボットなどのビジネス系サービス、知育・教育、ヘルスケアなどのコンテンツ系サービスともにDX化の流れのなかで、引き続き順調に売上高が増加しており、今後のさらなる拡大をにらみ、開発体制の拡充、宣伝・販売施策の強化に取り組んでいます。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は4,008,171千円(前年同期比17.6%減)、営業利益は168,547千円(前年同期比31.7%減)となりました。また、変動する為替動向を受け、中国子会社を中心に51,179千円の為替差損が発生したことから、経常利益は112,493千円(前年同期比56.2%減)となりました。純利益については、持株会社体制への移行をにらんだデバイス事業会社の完全子会社化による連結ベースでの繰延税金資産の計上により、156,857千円(前年同期比1.1%減)と、ほぼ前年並みを確認しました。

セグメント別の事業動向については以下の通りです。

### <DXソリューション事業>

当第2四半期連結累計期間におけるDXソリューション事業の売上高は3,226,116千円(前年同期比22.4%減)、セグメント利益は293,160千円(前年同期比26.0%減)となりました。

デバイスソリューション事業については、コロナ禍の影響を受け、インバウンド関連製品等が前期に比べ大幅に減少しており、これに対応すべく、新たなIoTデバイスの受注活動を積極的に推進しています。具体的には、マイネム株式会社の笑顔を感じて除菌液を噴霧する装置「emmyWash」や、顔認識および音声認識により決済や認証を可能にするPLEN Robotics社のAIアシスタント「PLEN Cube」、InstaChord株式会社の電子楽器「InstaChord(インスタコード)」など、さまざまな新規デバイスへの取り組みを開始しております。

サービスソリューション事業については、昨年度から案件の選別を進めており、収益性の観点に加え、DX、ビッグデータ、AIなど、技術・ノウハウの蓄積、拡充に重点をおいた取り組みを推進しています。通信キャリアや大手一般法人向けの売上高は前期に比べ減少しましたが、ベンチャー企業を中心とするネットサービス事業者向け案件は拡大傾向にあります。

### <X-Techサービス事業>

当第2四半期連結累計期間におけるX-Techサービス事業の売上高は782,055千円(前年同期比10.1%増)、セグメント損失は10,609千円(前年同期はセグメント損失966千円)となりました。

コロナ禍の影響もあり、働き方や生活、学習環境、健康意識などの変化が加速していくなか、デジタル化、ネットワーク化は急速に進展しています。EdTech、HealthTech、FinTech、ビジネスコミュニケーションなどのジャンルは今後においてもデジタルサービスの普及、発展が大いに期待される分野です。当社グループのX-Techサービス事業は、まだ全体としては損失計上段階にありますが、売上高は継続的に増加しており、今後の拡大をにらみ、さらなる開発体制の拡充と販売施策の強化を行っています。

今期においては、コンテンツ系サービスである知育・教育、ヘルスケア、ビジネス系サービスであるコミュニケーション、電子マネーの主力4分野全てが前年同期に比べ増収で推移しました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,459,020	2,672,949
受取手形及び売掛金	1,228,912	929,602
商品	13,063	12,020
仕掛品	279,248	185,712
原材料	178,815	140,126
前渡金	797,815	651,498
短期貸付金	615	482
その他	244,266	591,688
貸倒引当金	△5,475	△4,021
流動資産合計	7,196,283	5,180,058
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	141,631	142,382
車両運搬具(純額)	4,311	3,708
器具備品(純額)	56,489	65,316
建設仮勘定	2,544	2,008
有形固定資産合計	204,976	213,416
無形固定資産		
ソフトウェア	120,510	169,859
ソフトウェア仮勘定	170,976	267,428
のれん	106,988	89,639
その他	6,311	5,036
無形固定資産合計	404,786	531,963
投資その他の資産		
投資有価証券	411,067	80,691
関係会社株式	—	857,423
関係会社出資金	27,902	26,525
繰延税金資産	28,001	68,420
差入保証金	229,914	238,134
その他	33,460	31,107
貸倒引当金	△37,131	△37,131
投資その他の資産合計	693,213	1,265,170
固定資産合計	1,302,977	2,010,550
資産合計	8,499,260	7,190,608

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	807,144	518,923
短期借入金	151,833	222,392
1年内返済予定の長期借入金	305,992	212,242
未払法人税等	211,472	39,587
前受金	1,181,125	661,415
賞与引当金	201,718	114,762
製品保証引当金	800	427
その他	410,121	267,570
流動負債合計	3,270,207	2,037,320
固定負債		
長期借入金	185,262	63,516
繰延税金負債	57,832	9,796
資産除去債務	32,954	33,200
その他	4,395	4,733
固定負債合計	280,444	111,246
負債合計	3,550,651	2,148,566
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,376,544	2,376,544
資本剰余金	1,440,163	1,485,535
利益剰余金	1,006,140	1,128,547
自己株式	△21	△45
株主資本合計	4,822,827	4,990,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,548	43,406
繰延ヘッジ損益	495	△2,659
為替換算調整勘定	△1,844	△12,959
その他の包括利益累計額合計	63,200	27,787
新株予約権	17,329	23,673
非支配株主持分	45,252	—
純資産合計	4,948,609	5,042,042
負債純資産合計	8,499,260	7,190,608

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	4,866,908	4,008,171
売上原価	3,717,941	2,842,465
売上総利益	1,148,967	1,165,705
販売費及び一般管理費	902,300	997,157
営業利益	246,666	168,547
営業外収益		
受取利息	360	1,449
その他	20,037	3,672
営業外収益合計	20,397	5,122
営業外費用		
為替差損	—	51,179
その他	10,301	9,996
営業外費用合計	10,301	61,176
経常利益	256,763	112,493
特別利益		
新株予約権戻入益	239	—
特別利益合計	239	—
特別損失		
事務所移転費用	10,091	—
特別損失合計	10,091	—
税金等調整前四半期純利益	246,911	112,493
法人税、住民税及び事業税	82,702	35,145
法人税等調整額	△172	△79,587
法人税等合計	82,530	△44,442
四半期純利益	164,380	156,936
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,837	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,543	156,857

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	164,380	156,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,946	△21,142
繰延ヘッジ損益	2,998	△3,154
為替換算調整勘定	△3,509	△11,115
その他の包括利益合計	△31,457	△35,412
四半期包括利益	132,923	121,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,091	121,444
非支配株主に係る四半期包括利益	5,831	78



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	246,911	112,493
減価償却費	52,989	73,523
のれん償却額	17,349	17,349
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1,453
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△95,128	△86,955
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△10,643	—
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△20,198	△372
有形固定資産除却損	3,754	—
持分法による投資損益 (△は益)	232	1,377
新株予約権戻入益	△239	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△86,845	299,310
たな卸資産の増減額 (△は増加)	54,597	133,258
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,759	△288,221
前受金の増減額 (△は減少)	545,591	△519,709
前渡金の増減額 (△は増加)	△313,215	146,317
その他	16,178	△436,284
小計	443,094	△549,366
利息及び配当金の受取額	638	1,567
利息の支払額	△6,673	△5,688
法人税等の支払額	△38,424	△217,693
法人税等の還付額	1,359	1,541
営業活動によるキャッシュ・フロー	399,993	△769,640
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△53,770	△28,766
無形固定資産の取得による支出	△73,009	△210,720
投資有価証券の取得による支出	—	△10,113
関係会社株式の取得による支出	—	△553,027
貸付金の回収による収入	3,000	—
差入保証金の差入による支出	△42,544	△5,875
差入保証金の回収による収入	6,867	85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,456	△808,418
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	390,681	78,180
長期借入れによる収入	310,000	—
長期借入金の返済による支出	△205,891	△215,496
株式の発行による収入	935,784	—
自己株式の取得による支出	△21	△24
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	8,645	—
リース債務の返済による支出	△1,602	△1,602
配当金の支払額	△20,649	△34,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,416,946	△173,164
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,512	△34,847
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,693,995	△1,786,070
現金及び現金同等物の期首残高	2,155,245	4,459,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,849,241	2,672,949

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	DXソリューション 事業	X-Techサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	4,156,790	710,118	4,866,908	—	4,866,908
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	24,403	—	24,403	△24,403	—
計	4,181,193	710,118	4,891,311	△24,403	4,866,908
セグメント利益	396,288	△966	395,322	△148,655	246,666

(注) 1. セグメント利益の調整額△148,655千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△131,061千円、のれんの償却額△17,349千円が含まれております。全社費用は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	DXソリューション 事業	X-Techサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	3,226,116	782,055	4,008,171	—	4,008,171
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	43,492	—	43,492	△43,492	—
計	3,269,608	782,055	4,051,663	△43,492	4,008,171
セグメント利益	293,160	△10,609	282,550	△114,002	168,547

(注) 1. セグメント利益の調整額△114,002千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△92,393千円、のれんの償却額△17,349千円が含まれております。全社費用は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。